

平成29年■公共施設総合権利計画 (2017年～2046年)

40年後には人口は、13372人になるという予測

- 基本方針
- 1 長寿命化と安全対策の推進
 - 2 人口減少・少子高齢化…適正規模の施設…統廃合へ
 - 3 既存施設の有効活用の推進

現在の公共施設 (学校・役場・福祉教育施設・道路・橋・水道・下水道等) 更新で
今後 40 年間に 727 億円必要 ≒ 毎年 18.2 億円必要…という試算

■駅構内に情報交流センター建設 (運営・観光協会)

設計・測量 東日本総合計画 (株) 1736 万円・請負 東武谷内田 (株) 2億3667万円
経費 2 億6500万円 (国補助金地方創生拠点整備交付金1億2337万円・借入1億2020万等)
(東武鉄道の敷地で、工事は東武鉄道の資格が必要。3社の競争入札で町予定価格の 99%で落札)

平成30年 駅西口10か年計画が始まりました。

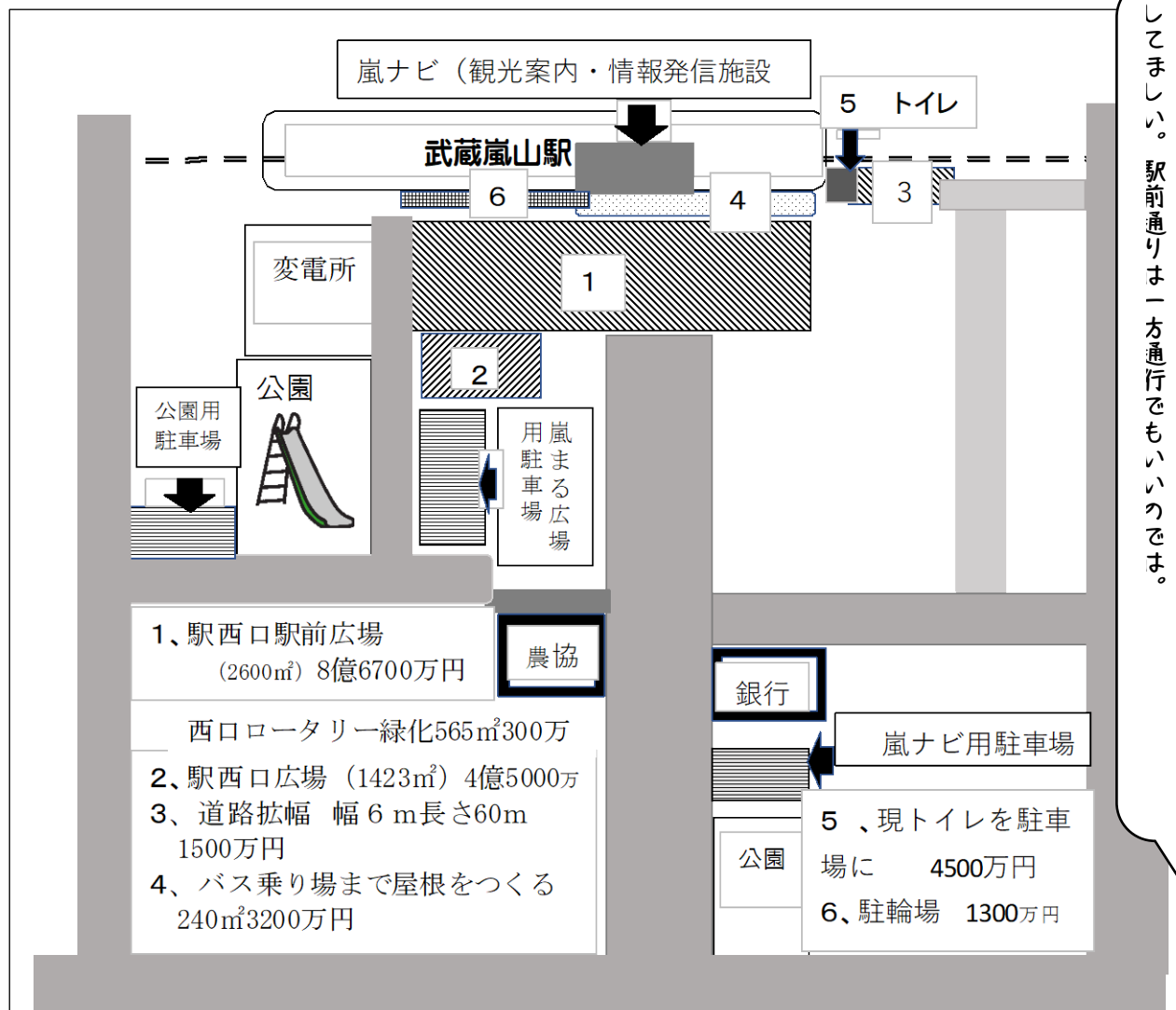
■西口情報交流活動センター「嵐ナビ」オープンしました。

■14億円で駅西口ロータリーを広げます…5年間 (平成30年～5年間)

借入金予定 7 億 7800 万円、国補助金地方活性化交付金 5 億万円予定

駅西口に多くの観光客を見込むため大型バスが通行でき、歩行者の安全確保できるようにする。

★東松山市は、東松山市駅前広場整備事業を H17 年～H22 年で実施。参考にしたのでしよう。



後期高齢者が多くなると、運転免許証返納・買い物困難が増えます。駅前には歩道を広げる必要があります。大型バスの乗り入れは必要でしょうか。駅西口整備は安心して外出できる公共交通制度づくりを優先してまいり。駅前通りは一方通行でもいいのか。

